

I 調査結果の概要

1 一般的事項

(1) 経営主体

調査対象となった452施設について経営主体別にその割合をみると、「個人経営」が49.1%、次いで「有限会社」が41.4%、「株式会社」が8.8%となっている。

また、構成割合を前回平成13年調査と比べると、「有限会社」が9.4ポイント上昇したのに対し、「個人経営」では、10.0ポイント低下した。

(表1) 経営主体別施設数及び構成割合

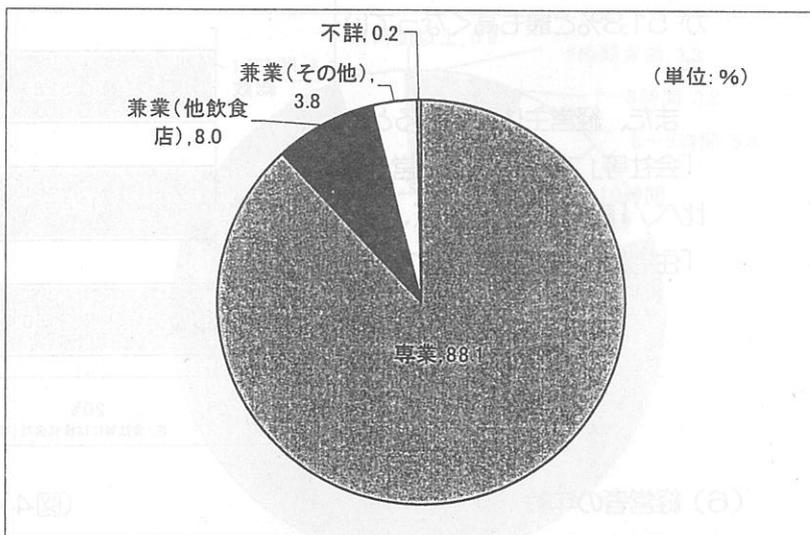
区分		平成8年	平成13年	平成18年
施設数	総数	1,972	1,450	452
	個人経営	1,209	857	222
	株式会社	180	119	40
	有限会社	561	464	187
	その他	21	9	3
	不詳	1	1	-
構成割合(%)	総数	100.0	100.0	100.0
	個人経営	61.3	59.1	49.1
	株式会社	9.1	8.2	8.8
	有限会社	28.4	32.0	41.4
	その他	1.1	0.6	0.7
	不詳	0.1	0.1	-

(2) 専業・兼業の別

専業・兼業別に全体の施設数の構成割合をみると、「専業」が88.1%、「兼業」が11.8%となっている。

また、兼業の内容をみると「他飲食店」が8.0%、「その他」が3.8%となっている。

(図1) 専業・兼業別施設数の割合

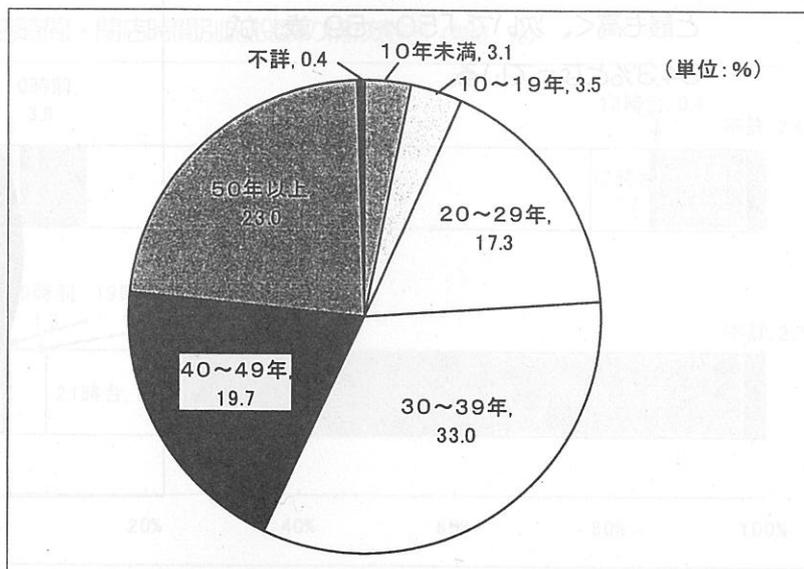


(3) 創業年

創業年別に全体の施設数の構成割合をみると、「30~39年」が33.0%と最も高くなっている。

また、「50年以上」が23.0%となっており、「30~39年」と合わせると、すし業全体の半数以上を占めている。

(図2) 創業年別施設数の構成割合



(4) 店舗の形態

店舗の形態別に全体の施設数の構成割合をみると、「単独店（支店を持たない本店）」が89.2%と最も高くなっている。

また、経営主体別にみると、「個人経営」では、「単独店」が95.5%と最も高く、「株式会社」では、「複数店（本店+支店）」が30.0%と高くなっている。

(表2) 店舗形態、経営主体別施設数及び構成割合

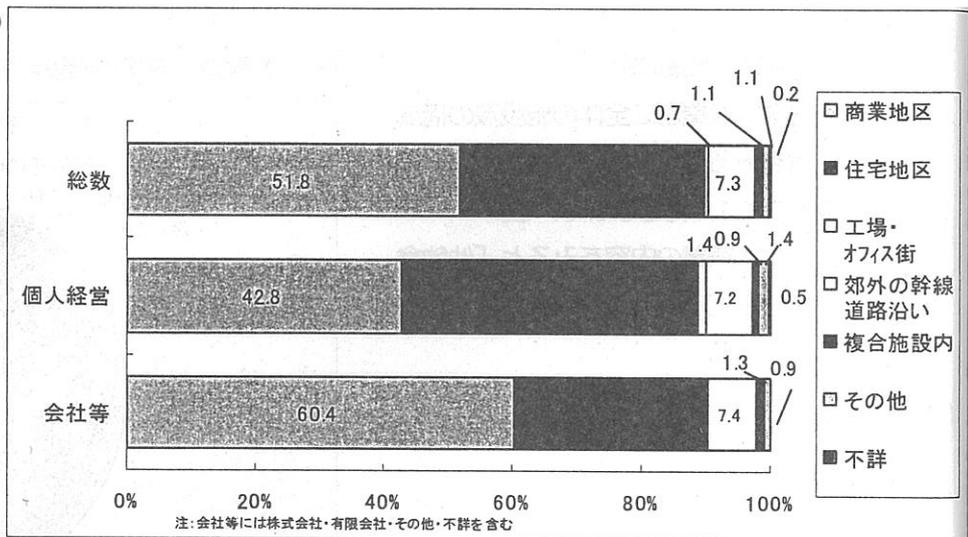
区 分		総数	単独店	本店	支店	不詳
施設数	総 数	452	403	45	3	1
	個人経営	222	212	9	0	1
	株式会社	40	27	12	1	-
	有限会社	187	161	24	2	-
構成割合 (%)	総 数	100.0	89.2	10.0	0.7	0.2
	個人経営	100.0	95.5	4.1	-	0.5
	株式会社	100.0	67.5	30.0	3	-
	有限会社	100.0	86.1	12.8	1	-

(5) 立地条件

立地条件別に全体の施設数の構成割合をみると、「商業地区」が51.8%と最も高くなっている。

また、経営主体別にみると、「会社等」では、「個人経営」に比べ、「商業地区」が高く、「住宅地区」が低くなっている。

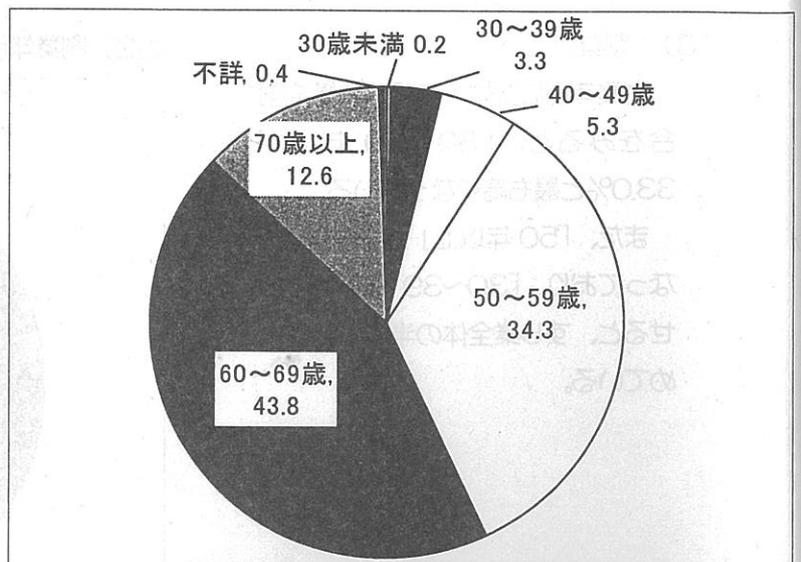
(図3) 立地条件、経営主体別施設数の構成割合



(6) 経営者の年齢

経営者の年齢階級別に全体の施設数の構成割合をみると、「60~69歳」が43.8%と最も高く、次いで「50~59歳」が、34.3%となっている。

(図4) 経営者の年齢別施設数の構成割合 (単位: %)



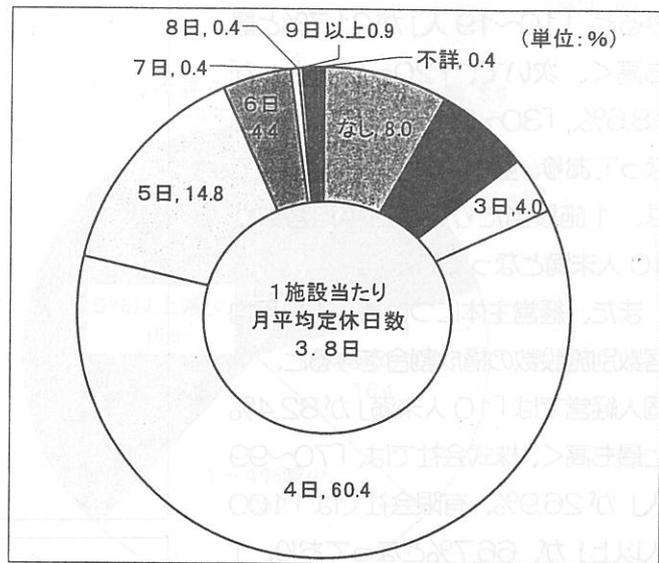
2 経営に関する事項

(1) 1ヶ月の定休日数

1ヶ月の定休日別に全体の施設数の構成割合をみると、「4日」が60.4%と最も高くなっている。

また、1施設当たりの1ヶ月の平均定休日数は3.8日となっている。

(図5) 1ヶ月の定休日数の構成割合

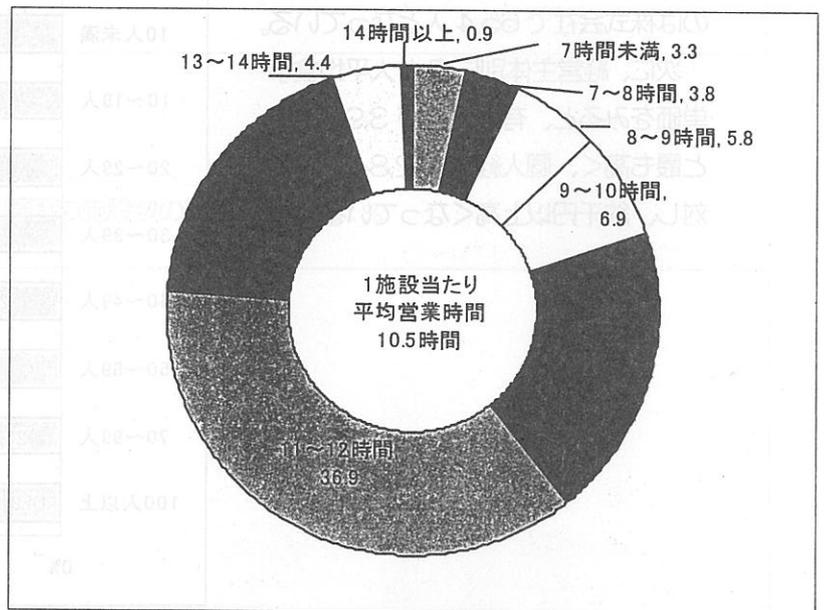


(2) 1日の営業時間

1日の営業時間別に施設数の構成割合をみると「11～12時間」が36.9%、次いで「10～11時間」が19.5%、「12～13時間」が18.6%となっている。

また、1施設当たりの平均営業時間は10.5時間となっている。

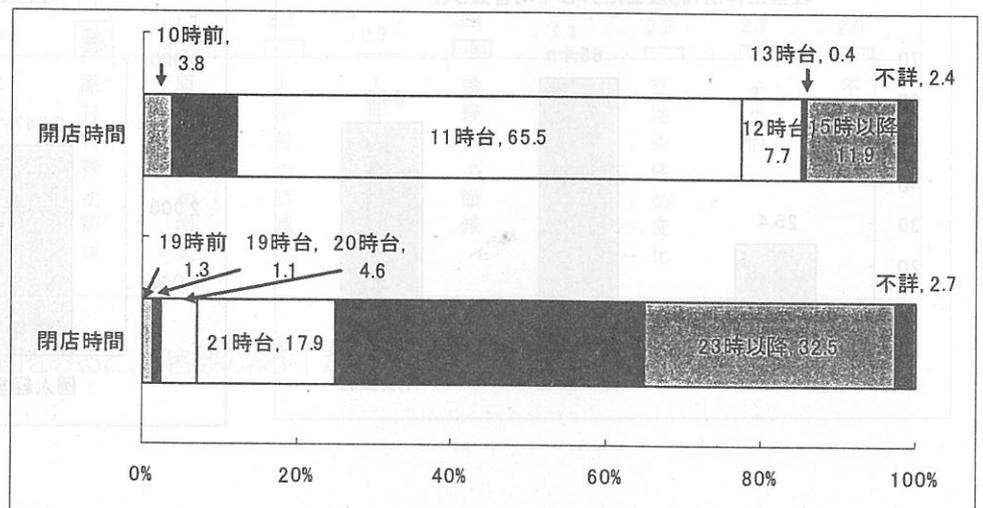
(図6) 1日の営業時間別施設数の構成割合 (単位: %)



(3) 開店時間と閉店時間

開店時間・閉店時間別に施設数の構成割合をみると、開店時間では、「11時台」が65.5%と最も高く、閉店時間では、「22時台」が39.8%と最も高くなっている。

(図7) 開店時間・閉店時間別施設数の構成割合 (単位: %)



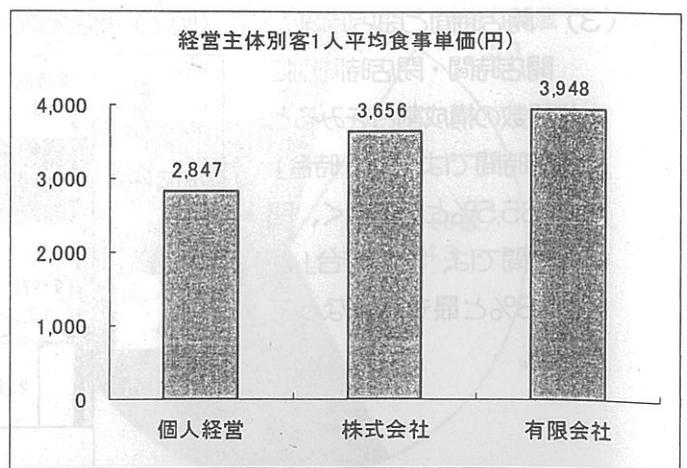
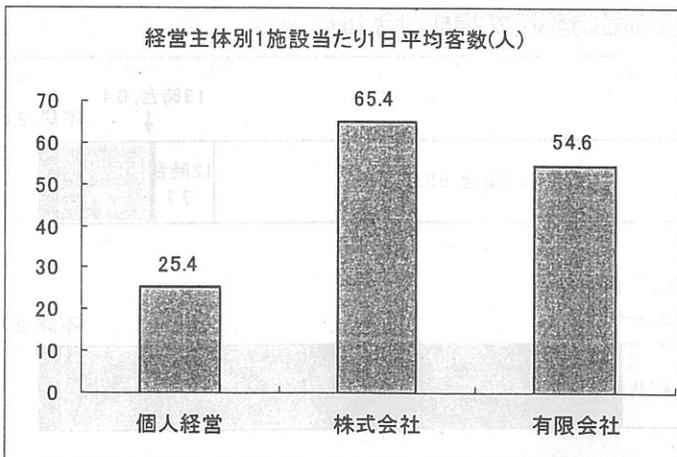
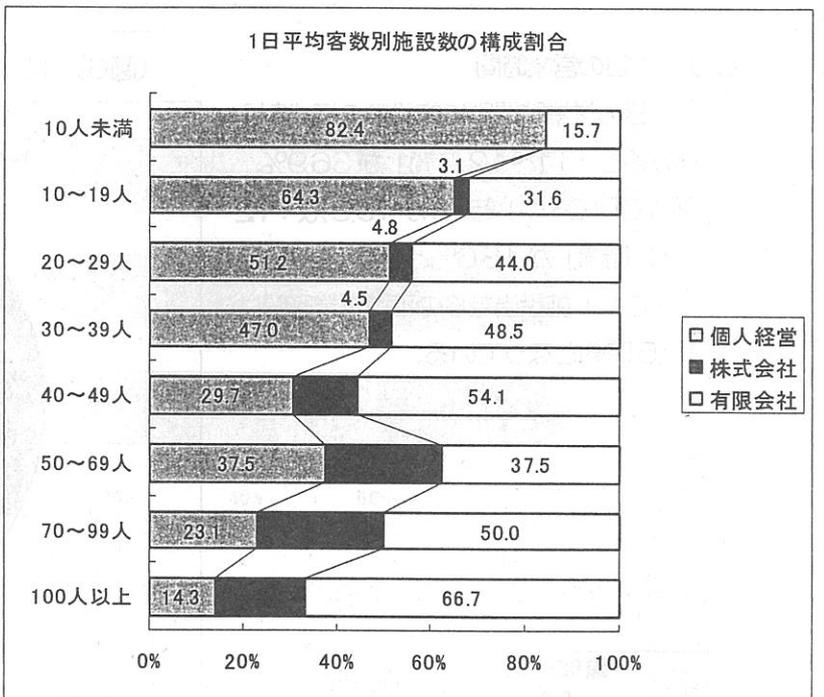
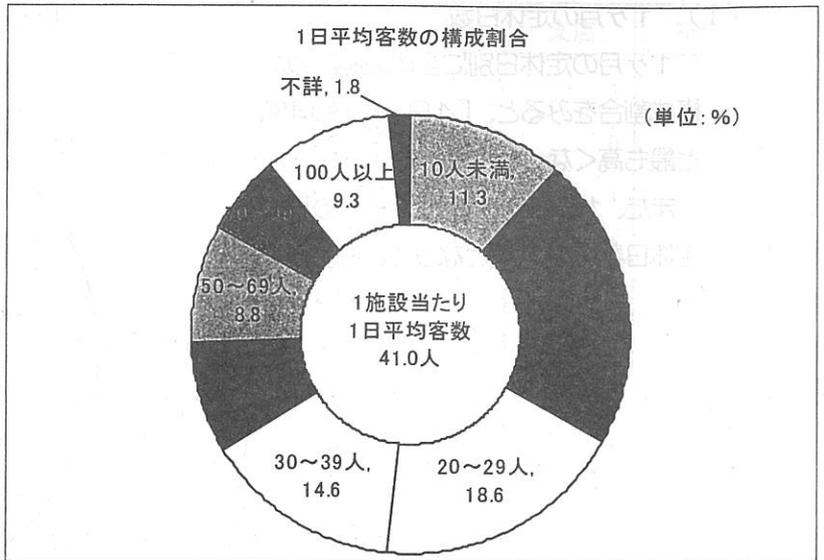
(4) 1日の平均客数と客1人平均食事単価

1日平均客数別施設数の構成割合をみると、「10～19人」が21.7%と最も高く、次いで、「20～29人」が18.6%、「30～39人」が14.6%となっており、全体の約7割近い施設では、1施設当たりの1日平均客数が40人未満となっている。

また、経営主体について、1日平均客数別施設数の構成割合をみると、個人経営では「10人未満」が82.4%と最も高く、株式会社では、「70～99人」が26.9%、有限会社では「100人以上」が66.7%となっており、1施設当たりの1日平均客数の最も多いのは株式会社で65.4人となっている。

次に、経営主体別に客1人平均食事単価をみると、有限会社が3,948円と最も高く、個人経営の2,847円に対し、約千円以上高くなっている。

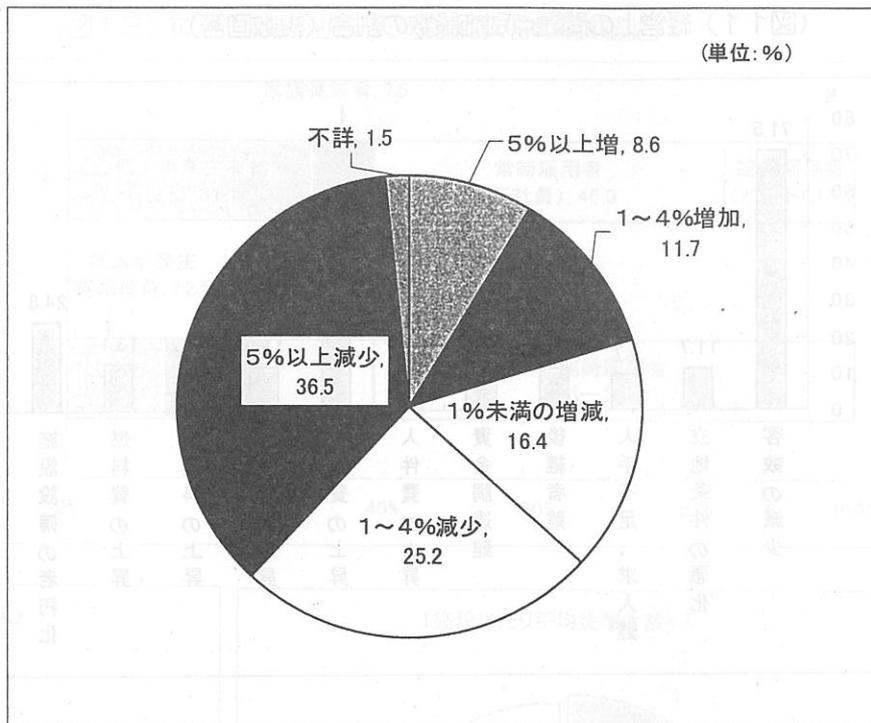
(図8) 1日平均客数、経営主体別施設数の構成割合



(5) 前年度と比べた今年度の売上

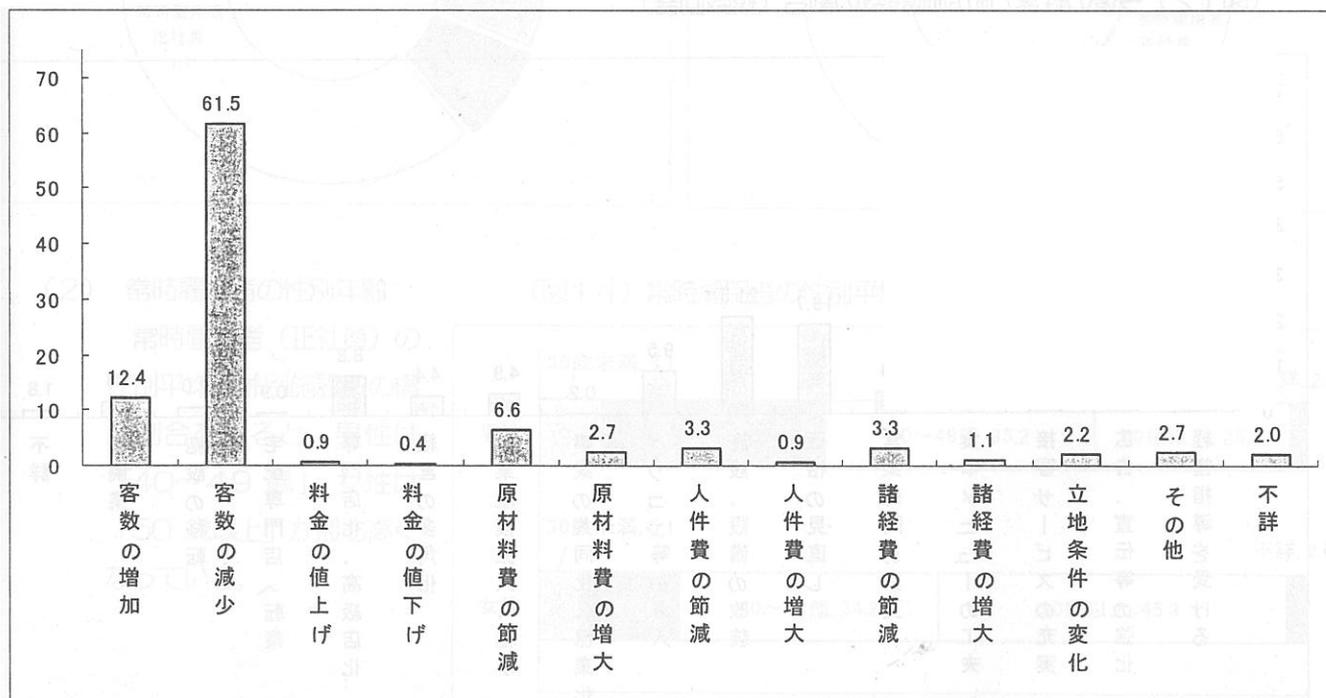
前年度と比べた今年度の売上の施設数の構成割合をみると、「5%以上減少」が36.5%と最も高く、次いで「1~4%減少」が25.2%となっており、1%以上減少している施設は、全体の6割以上を占めている。

(図9) 前年度と比べた今年度の売上の施設数の構成割合



(6) 本業の当期純利益の動向の主な原因

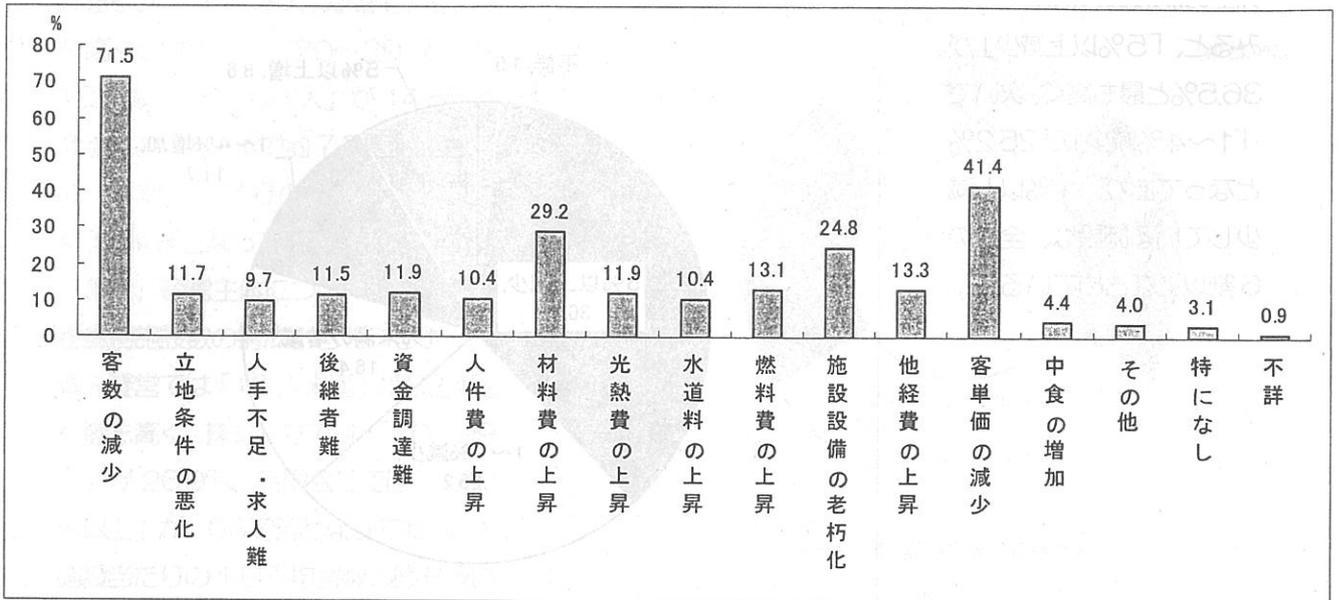
(図10) 本業の当期純利益の動向の主な原因の施設数の構成割合 (単位: %)



当期純利益の動向の主な原因をみると、「客数の減少」が6割以上となっており、それ以外の原因と比べて極端に高くなっている。

(7) 経営上の問題点

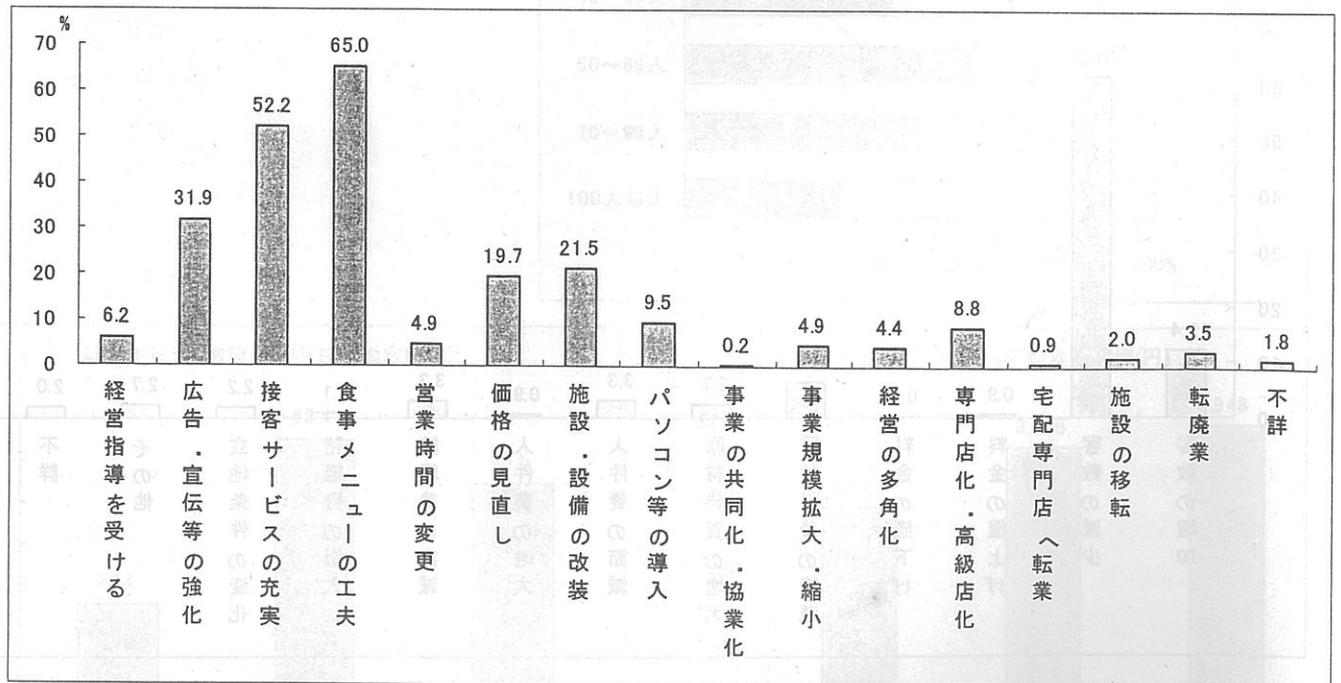
(図11) 経営上の問題点別施設数の割合 (複数回答)



経営上の問題点別に施設数の割合をみると、「客数の減少」が71.5%、「客単価の減少」が41.4%、「材料費の上昇」が29.2%、「施設設備の老朽化」が24.8%と高くなっている。

(8) 今後の経営方針

(図12) 今後の経営方針別施設数の割合 (複数回答)



今後の経営方針別に施設数の割合をみると「食事メニューの工夫」が65.0%、「接客サービスの充実」が52.2%、「広告・宣伝等の強化」が31.9%と高くなっている。

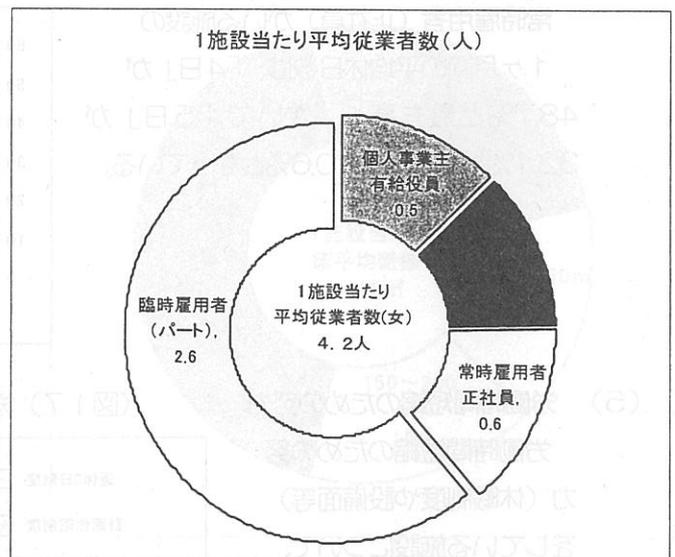
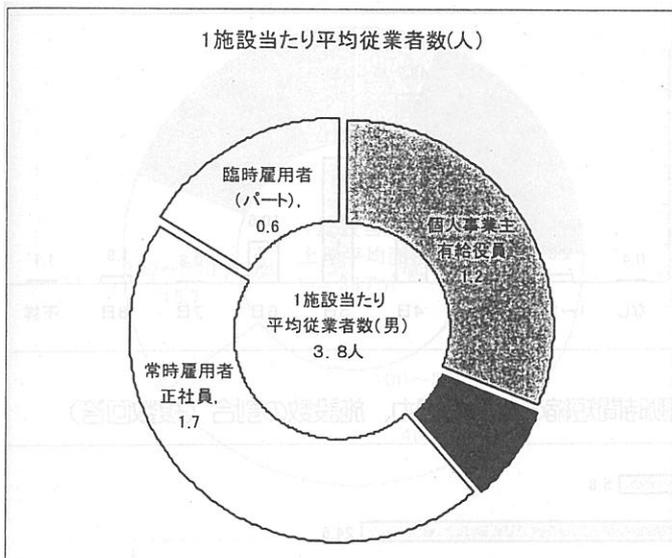
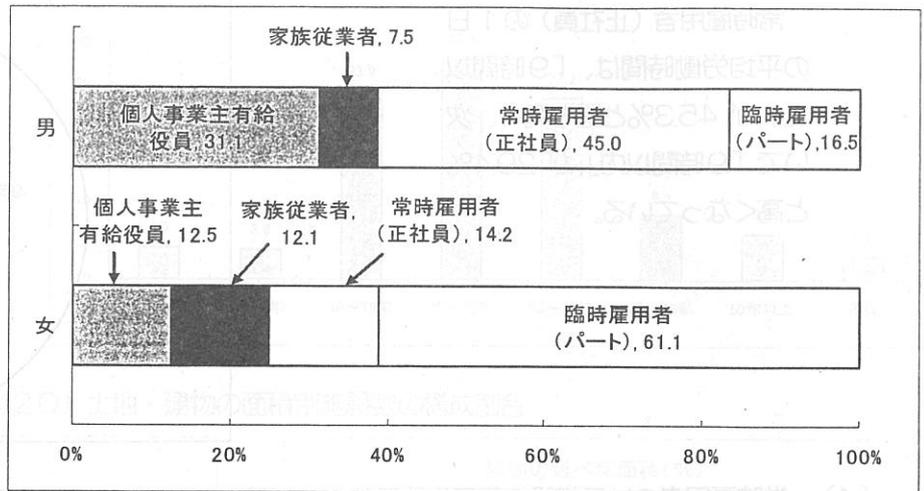
3 従業者に関する事項

(1) 従業者数

従業者数の1施設当たり平均従業者数をみると、男3.8人、女4.2人となっている。

また、雇用形態の構成割合をみると、男性は「常時雇用者(正社員)」が45.0%、女性は「臨時雇用者(パート)」が61.1%と、最も高くなっている。

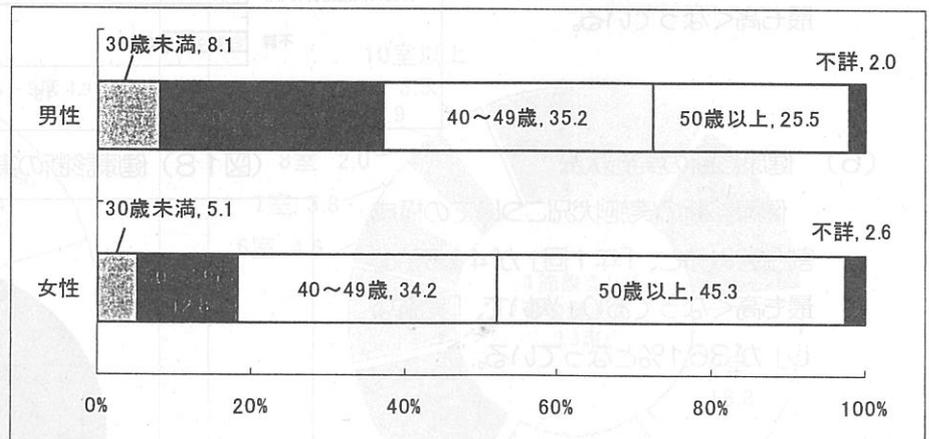
(図13) 従業者数、雇用の形態別従業者の構成割合



(2) 常時雇用者の性別年齢

常時雇用者(正社員)の性別平均年齢別施設数の構成割合をみると、男性は「40~49歳」、女性は「50歳以上」が最も高くなっている。

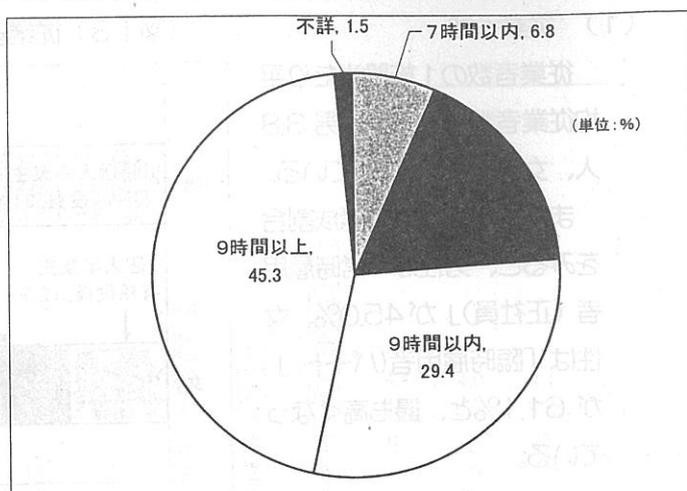
(図14) 常時雇用者の性別平均年齢別施設数の構成割合



(3) 常時雇用者のいる施設の1日平均労働時間

常時雇用者（正社員）の1日の平均労働時間は、「9時間以上」が45.3%と最も高く、次いで「9時間以内」が29.4%と高くなっている。

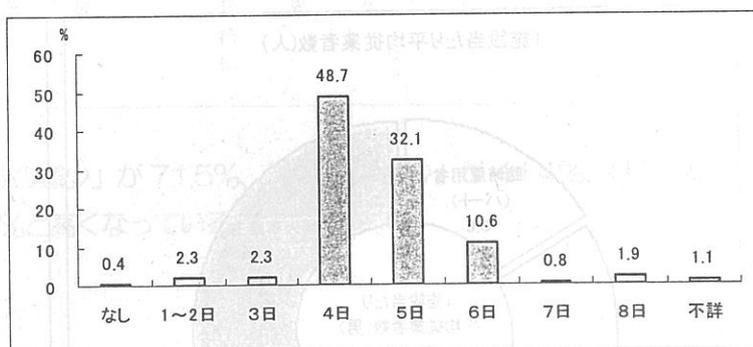
(図15) 常時雇用者の1日平均労働時間別施設数の構成割合



(4) 常時雇用者のいる施設の月平均休日数

常時雇用者（正社員）がいる施設の1ヶ月間の平均休日数は、「4日」が48.7%と最も高く、次いで「5日」が32.1%、「6日」が10.6%となっている。

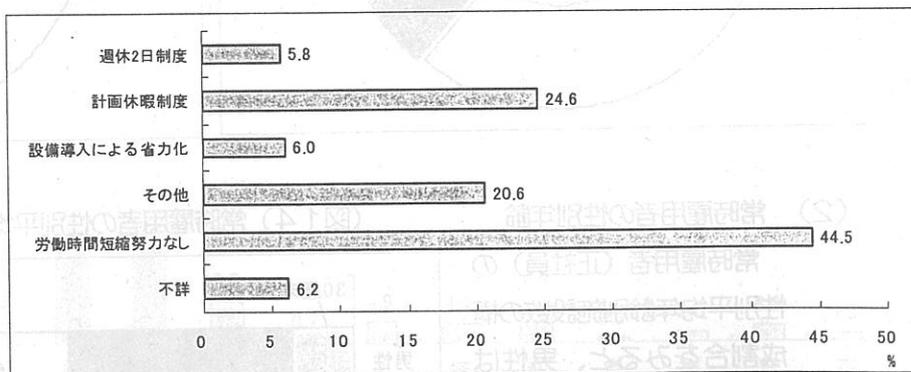
(図16) 常時雇用者の月平均休日数別施設数の割合



(5) 労働時間短縮のための努力

労働時間短縮のための努力（休暇制度や設備面等）をしている施設について、努力の内容別にみると、「計画休暇制度」が24.6%と最も高くなっている。

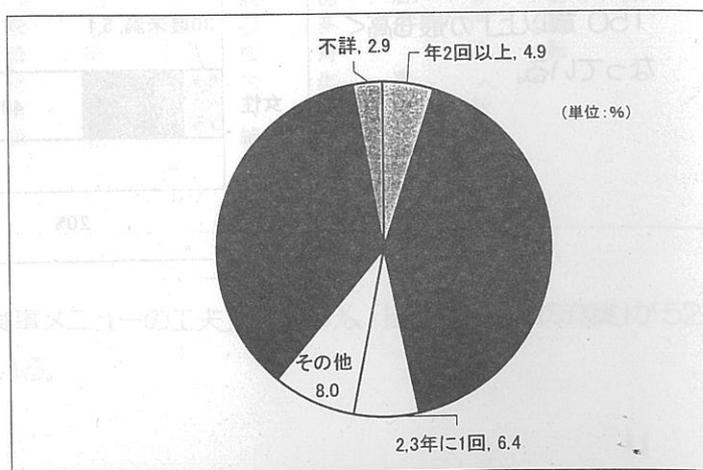
(図17) 労働時間短縮のための努力、施設数の割合（複数回答）



(6) 健康診断の実施状況

健康診断の実施状況についての構成割合をみると、「年1回」が41.8%と最も高くなっており、次いで、「実施なし」が36.1%となっている。

(図18) 健康診断の実施状況別施設数の構成割合

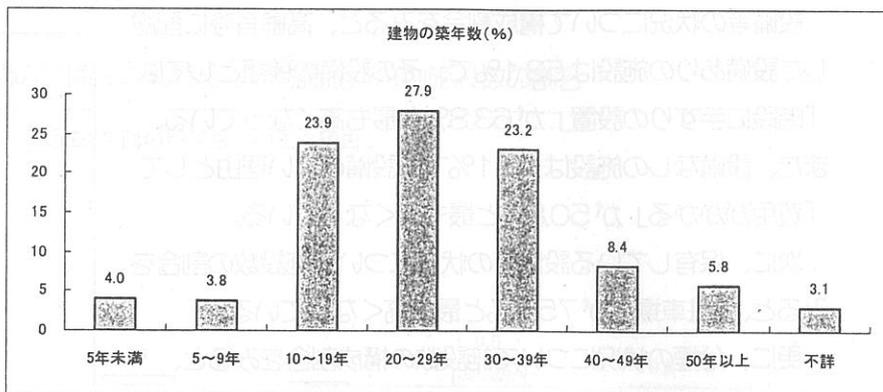


4 土地、建物及び設備等に関する事項

(図19) 建物の築年数別施設数の割合

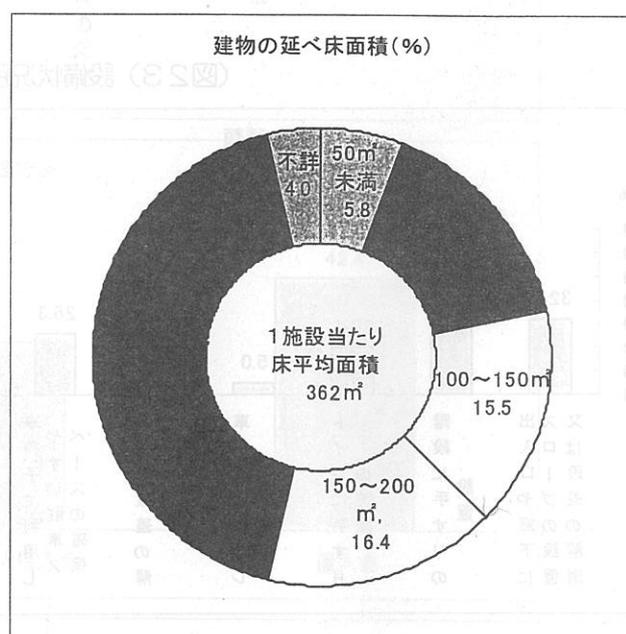
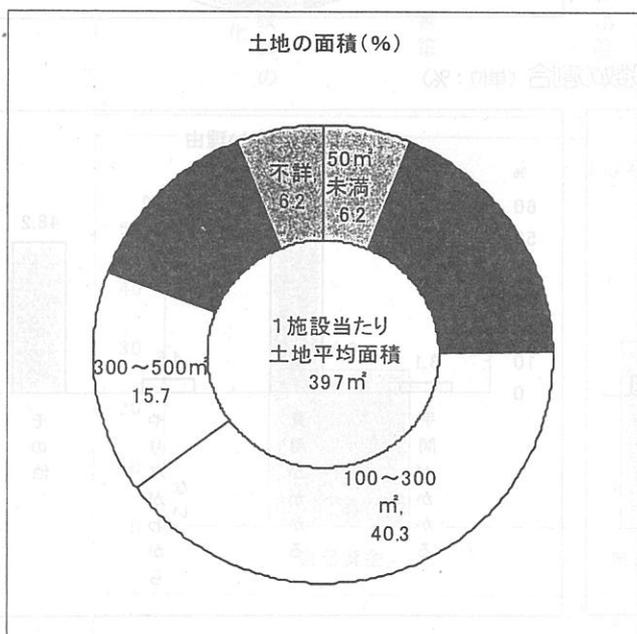
(1) 建物の築年数

建物の築年数別施設数の割合をみると、「20～29年」が27.9%と最も高く、次いで「10～19年」が23.9%、「30～39年」が23.2%となっている。



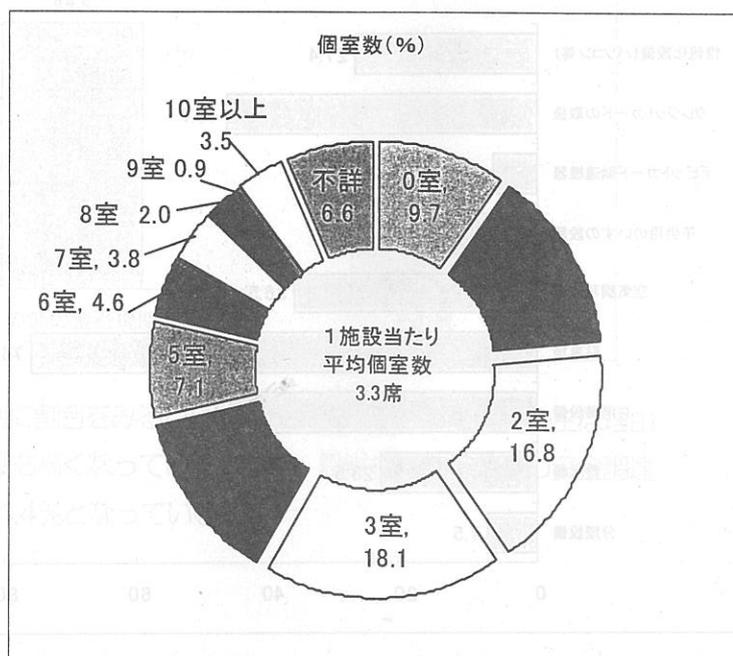
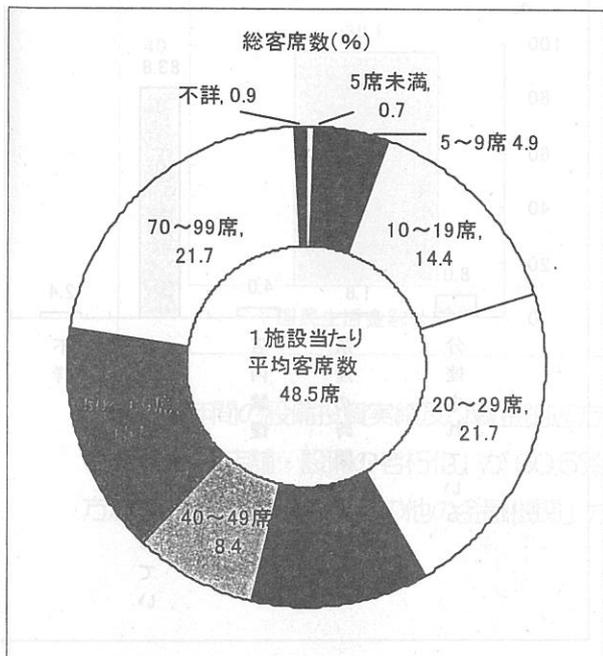
(2) 土地・建物の面積

(図20) 土地・建物の面積別施設数の構成割合



(3) 店内の広さ

(図21) 総客席数・個室数別施設数の構成割合



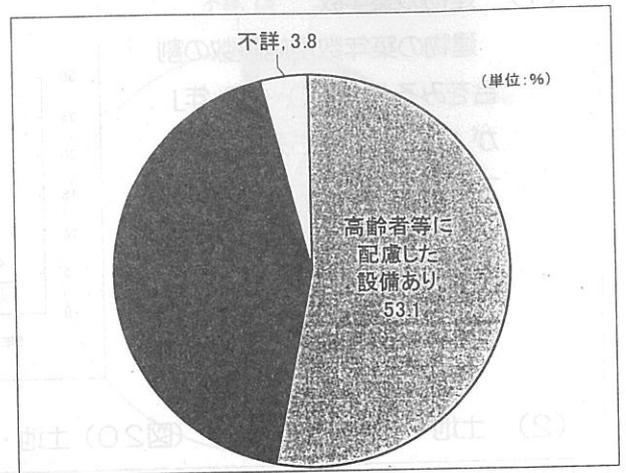
(4) 設備等の状況

設備等の状況について構成割合をみると、高齢者等に配慮した設備ありの施設は53.1%で、その設備の種類としては「階段に手すりの設置」が63.8%と最も高くなっている。また、設備なしの施設は43.1%で、設備のない理由として「費用がかかる」が50.8%と最も高くなっている。

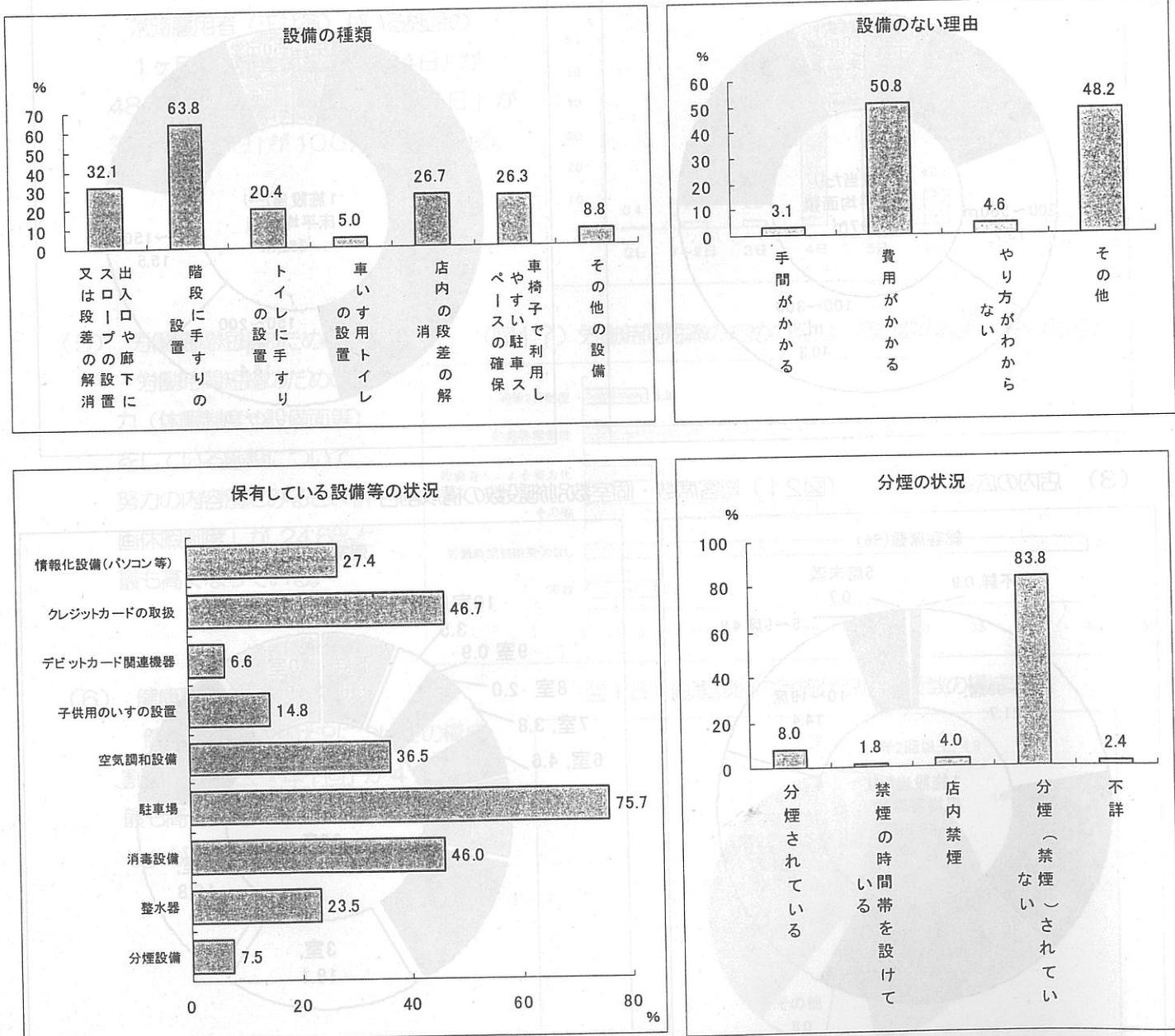
次に、保有している設備等の状況について施設数の割合をみると、「駐車場」が75.7%と最も高くなっている。

更に、分煙の状況について施設数の構成割合をみると、「分煙されていない」施設が83.8%と最も高くなっている。

(図22) 設備投資実績の有無別施設数の構成割合



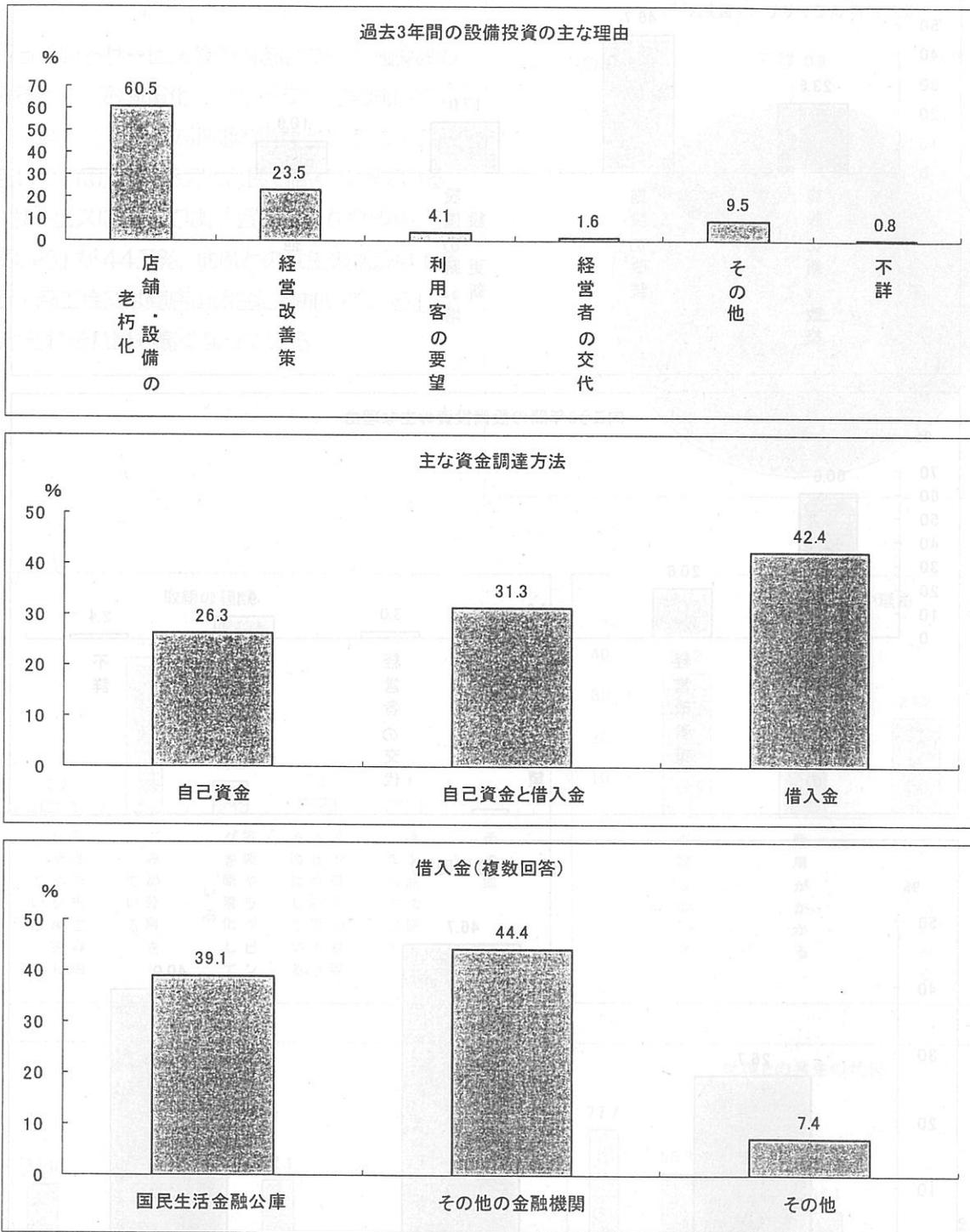
(図23) 設備状況別施設数の割合 (単位: %)



5 設備投資に関する事項

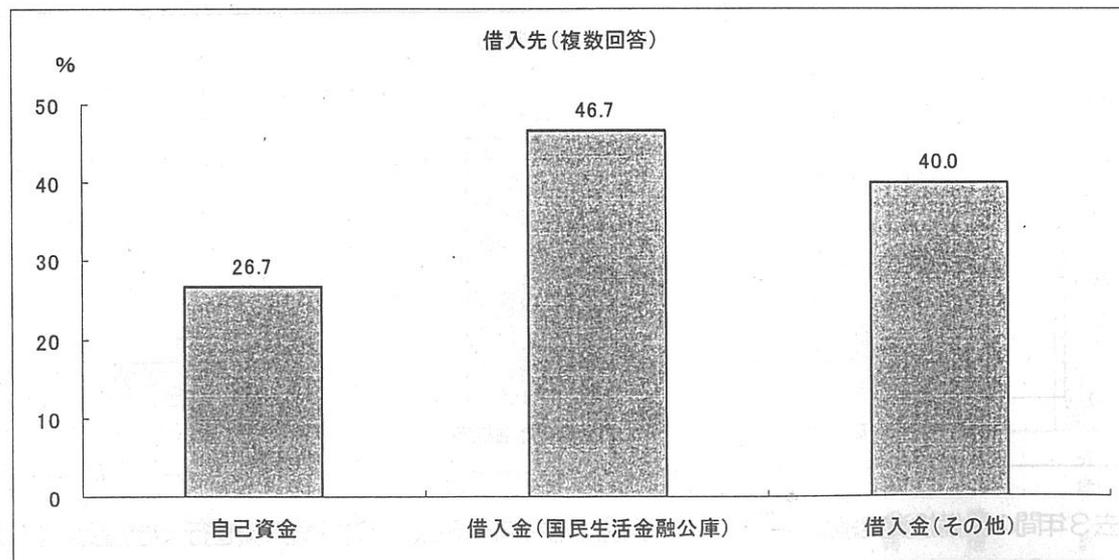
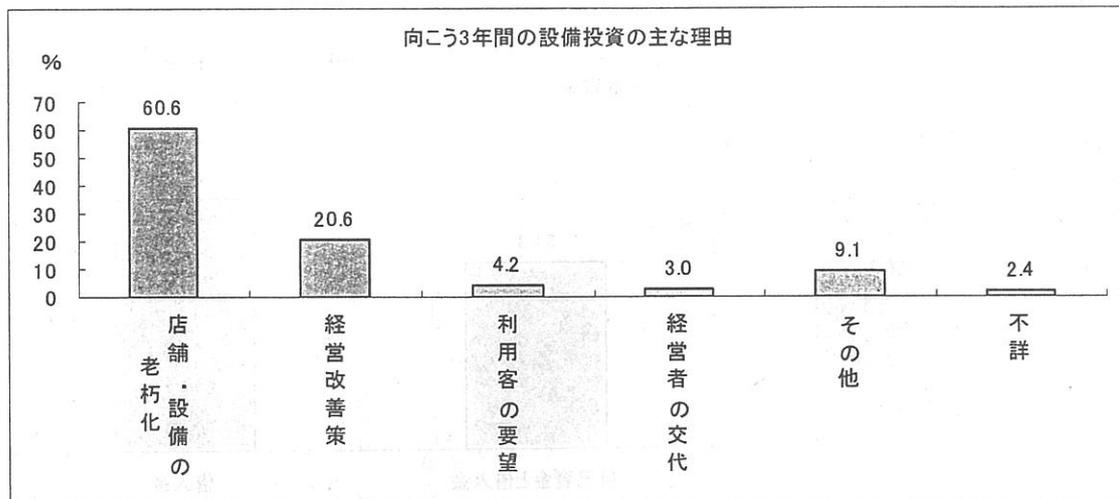
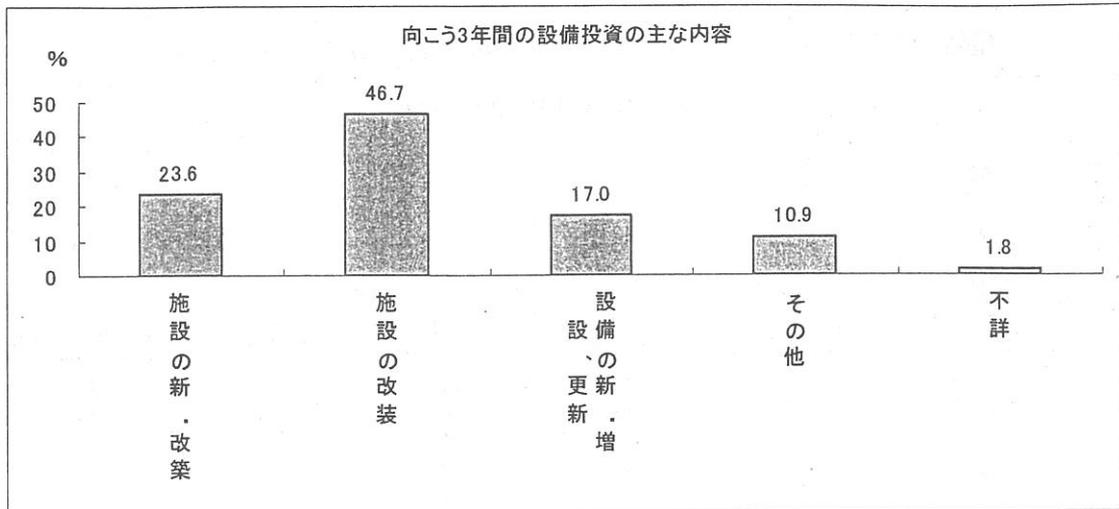
(注) 2

(図24) 過去3年間の設備投資実績及び資金調達方法別施設数の割合



過去3年間の設備投資実績及び資金調達方法別に割合をみると、設備投資実績を行った施設の主な理由としては、「店舗・設備の老朽化」が60.5%と最も高くなっている。また、設備投資を行う際の資金調達方法は、借入が高く、「その他の金融機関」が44.4%となっている。

(図25) 向こう3年間の設備投資予定及び資金調達方法別施設数の割合



向こう3年間の設備投資予定及び資金調達方法別に割合をみると、設備投資を行う予定の施設の内容としては、「施設の改装」が46.7%、理由としては「店舗・設備の老朽化」が60.6%と最も高くなっている。また、借入先は、「国民生活金融公庫」が46.7%と最も高くなっている。

6 サービス等関係の項目

(図26) サービス等の内容別施設数の割合 (複数回答)

現在行っているサービス等の内容について施設数の割合をみると、ごみ減量化・リサイクルを実施している施設は84.3%で、その取組の種類としては「ごみの分別をしている」が78.2%と最も高くなっている。

また、サービスについては、「会計が分かりやすい工夫をしている」が44.7%、地域との共生の状況は「商工会議所・商工会又は商店街組合に参加している」が77.7%とそれぞれ最も高くなっている。

